

令和 7 年 10 月「月 報」

1 はじめに

未だに夏日がチラホラしておりますが、「暑さ寒さも彼岸まで」、各所で紅葉の兆しを感じられます。「今年は 10 月が台風シーズンの本番」「秋雨前線との組み合わせで危険」等々、注意喚起の声が聞こえてきます。くれぐれもご用心なさってください。

さて、地域協議会が開催されています。今年度は、3 月に防衛省（大臣）、隊友会（理事長）、家族会（会長）間での家族支援に対する協力に関する協定を締結したことを受け、防衛省／自衛隊に望むことについて取り上げていただくよう各地域にお願いしております。

様々な意見をいただいております、本部でとりまとめ、機会あるごとに防衛省／自衛隊にお願いし、共に、わが国の防衛にとって重要な要素である家族に対する支援を充実させていこうと考えております。引き続きのご意見をよろしく願います。

さて、募集協力強調期間の後半に入ります。

新たな募集種目も含め、地道な募集協力が自衛隊の新たな力になります。

引き続きよろしく願います。

2 防衛省・自衛隊の活動（写真は防衛省等 HP 等より）

- (1) 9 月 7 日、中谷元 防衛大臣と金子容三防衛大臣政務官が、V-22 オスプレイが配備されている佐賀駐屯地開設記念行事に出席し、隊員を激励しました。

増田自衛隊家族会会長と漆原佐賀県自衛隊家族会会長が列席しました。



- (2) 統合幕僚監部によれば、平成 6 年度の災害派遣の件数は 377 県、総活動人員は延べ約 46,000 人でした。活動内容は①風水害対応に係る派遣、②林野火災の消火に係る派遣、③鳥インフルエンザ対応に係る派遣、④急患輸送であり、最も多いのは急患輸送でした。また、令和 6 年度に地上において発見された不発弾等の処理件数は 1,273 件（約 37.2 トン）海上における爆発性危険物の処理個数は 1,249 個（約 2.2 トン）でした。（機雷処理は実績なしとの由。）。
- (3) 陸上自衛隊は 9 月 11 日から 25 日の間、令和 7 年度米海兵隊との実動訓練（レゾリュート・ドラゴン 25）を実施しました。担任官は陸自：鳥海西部方面総監、米海兵隊：ターナー第 3 海兵機動展開部隊司令官で、陸自及び米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する際の相互連携要領を実行動により演練し、日米

の連携強化及び共同対処能力の向上を図ることを目的としています。

実施部隊は北海道の矢臼別演習場等を含め、山口、大分、佐賀、長崎、熊本、鹿児島）
沖縄の各県の演習場、駐屯地等の自衛隊施設、在日米軍施設等で訓練を実施しました。



米海兵隊との共同による
特殊武器対処訓練



敵船舶を洋上で撃破する
ヘリ火力戦闘訓練



PFI 船舶への負傷者等の後送及び
船内における応急治療訓練
※PFI (民間資金等活用事業)

3 家族会の活動

(1) 隊員の激励

ア 中央即応連隊（中即連隊）後期教育隊員の激励

9月9日、栃木県自衛隊家族会の古橋会長
以下60名は、宇都宮駐屯地の中央即応連隊
（連隊長 後藤1陸佐）で後期教育中の隊員を
訪問激励しました。 気温 34℃と、9月とは
思えない炎天下、訓練場に作られた不整地にお
ける近接戦闘訓練が行われ、少人数のグループに分かれた隊員たちが塹壕内を実戦
さながらに各種想定に対処しながら進みました。どのグループも今年4月に入隊し



たとは思えない敏捷さで行動する様は、流石に中即連隊で後
期教育を受けるだけあると感心しました。

課程を修了すると左肩に日章旗のワッペンを付ける事が
許され、立派な中即連隊隊員となり、ゆくゆくはジブチでの
任務にも就く事となります。

後期学生中5名が栃木県出身であり、その内3名の家族
が今回の研修に参加しており、訓練後たくましく成長した隊
員と記念撮影を行いました。



訓練研修の後、史料館見学、体験喫食を行い、研修を終えました。

イ 第52次海賊対処行動水上部隊の激励

10月1日、中條神奈川県家族会長、大串事務局長が
護衛艦「おおなみ」に、艦長飯尾2海佐、先任伍長岩間
海曹長を訪問し、第52次派遣海賊対処行動水上部隊を
激励しました。「おおなみ」の派遣は5回目。乗員の
1／3以上が複数回の派遣となる精鋭です。海上保安
庁からの8名を含む約200名の隊員の皆様のご活躍を祈念します。(10月4日出発)



ウ 第58次海賊対処行動航空隊の激励

9月10日、青森県家族会 野呂会長と室谷八戸市家族会長が海自八戸航空基地を訪れ、海自第2航空群所属の山越2海佐が率いる第58次派遣海賊対処航空隊を激励しました。(10月15日出発)



(2) 地域議会を開催

ア 北海道地域協議会：8月25日、札幌市で北海道地域協議会を開催しました。

日川北海道地域協議会長をはじめ、北海道地域の各会長事務局長等の役員が参加するとともに、本部から中村地域担当員が出席しました。

ブロック会議では、本部委託テーマの「家族支援に対する協力に関する協定締結を受けて、防衛省／自衛隊に望むこと」、北海道地域の独自テーマとして「各家族会における「家族会の魅力化施策」について、活発な意見交換がなされ、本部からは入隊入校確定者情報の提供に関する協定書、個人情報取り扱い等について説明し、その促進について改めて依頼しました。



懇親会には井戸川 井戸川北方總監
北部方面總監、渡邊千歳基地司令、上田
余市防備地司令の陸海空各指揮官、各地方
協力本部長等の現職や北海道隊友会連合

会長等の来賓を含む約40名にご参加いただき、実りある意見交換ができました。

イ 南関東地域協議会：9月2日・3日、横須賀市で南関東地域協議会を開催しました。



森山南関東地域協議会長をはじめ、南関東地域の各県会長、事務局長等の役員が参加するとともに、本部から高田地域担当委員が出席しました。

初日に記念館三笠で開かれた定例会議では、事業報告等及び役員選出等、本部からは家族支援に対する協力に関する協定書、入隊・入校者確定情報の提供に関する協定書、非常勤職員の配置についてお知らせしました。



三笠士官室にて

2日目には陸自武山駐屯地に場を移して星指高等工科学学校長、新田31普通科連隊長の講話を拝聴し、隊員を激励、部隊を見学、体験喫食と盛りだくさんでした。

意見交換会には、上田東部方面總監、真殿横須賀地方總監、藤岡防衛大学校副校長をはじめ各都県の地本長、東方人事部長等も参加し、有意義な時間を過ごしました。



ウ 中国地域協議会：9月4日・5日、米子市で中国地域協議会を開催しました。

吉田中国地域協議会長はじめ、中国地域の各県会長、副会長、事務局長等の役員、関係者が参加するとともに、本部から鍛冶地域担当委員が出席し、自衛隊側からは、橋爪第13旅団長、中尾米子駐屯地司令（陸）、富崎美保基地司令（空）、井上高尾山分屯基地司令（空）、三浦中国四国防衛局総務部長、各自衛隊地方協力本部長他多くの方々にご参加いただきました。



田崎西空司令官

の来賓、橋本中部方面総監部幕僚副長、西脇舞鶴地方総監、鳥取県自衛隊退職者雇用協議会会長、鳥取県隊友会長等が加わり、懇親を深めました。



会議では、本部委託テーマの他、中国地域協議会独自のテーマとして「後継者不足をどう解決する？支部の危機と対策」について討議され、部隊研修等の活動の活発化等多くのアイディアが出ました。その後、田崎西部航空方面隊司令官の「航空自衛隊の概要2025」と題する講話を拝聴して見識を深め、

続く懇親会では、国会議員代理、県知事代理等



米子駐屯地隊員の銃剣道展示



橋本
中方幕僚副長

5日は空自美保基地で航空支援集団第3輸送航空隊等を研修し、多大な成果を上げて終了しました。

エ 九州・沖縄地域協議会：9月8日・9日、熊本市で九州・沖縄地域協議会を開催しました。8日は総会と西部方面総監部との連絡会同、意見交換会、9日は健軍駐屯地に所在する第5地对艦ミサイル連隊の新隊員教育を研修しました。光永九州沖縄地域協議会長をはじめ、九州・沖縄地域の各県会長事務局長等が参加するとともに、本部から竹本地域担当委員、自衛隊側から総監部幕僚副長、



人事部長、人事課長、募集課長等が参加して事業報告や役員人事等の審議、意見交換や情報発信を行い、特に家族支援協力について、自衛隊側に対し、安否確認システムの拡充・周知、自衛隊と一体となった活動のために年間を通しての考え方の明示等の要望をしました。総監部からは、生活勤務環境の改善をはじめとする今後の人事施策の紹介の他、募集の取り組みや援護業務等に係る協力の他、隊員を自殺、飲酒運転、特殊詐欺に関わらせない取り組みへの協力が求められました。意見交換会には佐野西部方面総監部幕僚長、根本、吉川両幕僚副長、各地方協力本部長も出席し、家族会関係者相互に理解を促進した他、総監部高官や幕僚に家族会の悩みや各県固有の問題について理解を深めていただきました。



9日は鳥海西部方面総監を訪問して家族会の現状と更なる連携強化の推進にご理解いただき、第5地对艦ミサイル連隊の新隊員教育等を研修して2日間の日程を終了しました。

4 事務局からの連絡

(1) ボランティア保険料の支払いについて

令和6年10月に契約更新したボランティア保険が令和7年9月末で満期(1年)となりました。各県家族会の保険料支払いにつきましては、事務局からの「保険料請求のご案内」が、お手元に届き、確認を頂いた後に10月～11月28日(金)の間に支払いをお願いします。

(2) 各種希望数の確認について

下記について要望数をそれぞれの時期までに事務局業務担当の梁池へご連絡下さい。

ア 入校・入隊者激励会用「おやばと」(無償配布)

入校・入隊者激励会用「おやばと2月号」希望数を11月27日(木)まで
(※9月「月報」で「30日まで」とお知らせしましたが、誤りでした。)

イ 北方領土返還要求署名用紙

令和7年度希望数を11月27日(木)まで
(※9月「月報」で「30日まで」とお知らせしましたが、誤りでした。)

(3) 「活動状況等調査」の提出について

家族会本第19号(令和7年4月18日)にて、令和7年11月4日(火)を提出期限としてお願いしております。よろしくお願い致します。

(4) オリンピック冬季大会(ミラノ・コルティナダンペッツォ 2026. 令和8年2月6日～2月22日) 出場隊員等支援募金のお願い。

令和7年度自衛隊家族会事業計画「(公2) 隊員等に対する慰問・激励」に基づき、来年開催のオリンピック冬季大会に出場する隊員等を支援・激励いたします。

出場選手が発表されるのは年明けになるようですが、自衛隊体育学校からは、クロスカントリーやバイアスロンでの活躍が期待されます。

つきましては、次の要領で募金をよろしくお願いします。

- ① 募金額の基準：5千円／県家族会
- ② 募金期間：令和7年12月25日
- ③ 振込要領：口座名：公益社団法人 自衛隊家族会
口座記号番号：00140-9-6014

※ 通信欄に「オリンピック募金」と記載願います。

以上